

七〇年心、大統的文化革命への戦闘的招待

主催 共産主義人民連帯 / 地区人民評議会
共催 三里塚闘争共闘会議

☆人民評議会を堅持し日本ソヴェイト根拠地を建設せよ!
☆復活した日本軍国主義を打倒しよう!
☆マルクス・レーニン主義、毛沢東思想万才!

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

偉大な革命(七〇)年代を迎えるなかで、日本プロレタリ
ア革命運動は重大なる革命的危機に直面してきている。こ
れは危機的構構は政治主義的、軍事主義的プラグマティス
トによる安易な実践的解決や、知識人による先進的運動の
なみの産物である。それらの試案ではどうにもならなくなっ
てきた。この危機こそ「深刻で強力な人民運動」(レーニ
ン)という革命の原理の創造を全体的な矛盾の矛盾のうちに
に秘め、政治闘争の危機、もしくは全日常生活過程での存
在的危機として表面化している。今、我が日本プロレタリ
ア革命派は、六〇年代後半に大衆闘争が根源的諸問題を提
起した、その発端と成果を、今日の(全体的危機)の中で、
革命闘争の持続性、根源性そのものを現代革命戦略の内
へと構造化、闘争！批判！改革！というマルクス主義的認識運
動の路線を軸とし、(日常生活の批判的認識)として自ら
の主体性を日常性の中で構構、分化、そして階級形成へ
とその真をかねねばならない。また先進(?)資本主義圏
の(八心脈)日本国独資！現代ブルジョアジーによる(人
組織され九消費社会)とする集約的全体性！それに対する
根源的的抵抗として、経済的政策的文化的水準をもつた社
会的総合力とする(全体的革命)として、歴史的法廷を
教訓とし、政治訓練を強め、さらに自らの強い意志の形
成へと求めていかねばならない。

今や、全世界の過渡期、「帝國主義が全面的に崩壊し、
社会主義が全世界的に勝利する時代」(毛沢東)の中で、
プロレタリア革命闘争の方式、その構造全体が共産主義
運動の一つの側面、跡起や暴力のみに限られるのではな
く、

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

12.13 集会

藤本進治
三里塚青年行隊
三里塚闘争共闘会議

連絡先 烽火社 電話(九八三)六〇一七

12月13日(日)12時半開場
於 豊島理興会館集会場
池袋駅東口・豊島公会堂下ナリ

九新原則的運動の方向性と日本ソヴェイト運動の

それは、階級意識を媒介可能とした、人の要素を基礎
とした、新しい労働の組織(生産闘争)を指し、
これはあくまでも闘争の持続の諸条件として必
要とされるであろう。階級意識におけるプロレタ
リアートの二重性とする内面的矛盾、そして大衆の
生活の意志からの、出発から、それらの労働の質、
および観念(ブルジョア賃金形態)を築造する過
程。第一、第三階級として経済的、下部構造の建
設が必要である。(整風)と(生産闘争)。我
々(重層的階級の創造)のために地区人民評議会運動を
前進させる。

それは「人民に奉仕して、革命的な力量が必要とされ
る。それは大衆闘争の方向性の中で宣伝隊、
武装隊、工作隊、生産隊とする(赤軍の構造)を建
設することである。(打た破って打たせて)社会
的総合力の能力をもつた全体的革命路線を軸とする
意味で勇敢な部隊である。単なる主観的熱情や理論
的正当性のみには頼るのではなく、大衆の目的的闘争
に依拠し、これを構造化した模範の流を形成、こ
れを構造化すること、そして大衆が思いきって起
ちあがる化をも大衆の中へ入ること。争ふこと、決
して安易に問題を解決したり、闘争形態を与えない
ことを基本とした(整風の組織)を創造すること
である。今我々は広範な大衆闘争の中で無敵のこのよ
うな活動部隊を形成せねばならないのである。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

以上の三点が標準であるが、我々の七〇年代階級闘争に向

けての基本的課題と考える。(八魂)方向(八力)の三つ
の位相が日本プロレタリア革命の方向転換のために、そして
長征の第一歩として我々を迎え入れるであろう。
同志諸君、この三つの位相を普遍化するにあたり、それら
ふさわしい革命的な現実的力をもっている。それらは階
級闘争の防衛、国家権力に対する政治的、武装闘争による階級
労働への防衛、国家権力に対する政治的、武装闘争による階級
闘争、そして少年行動隊を媒介とした思想文化革命闘争
と、まさに自然発生的闘争の中からも今日の日本プロレタ
リア革命の方向転換の重要な示唆を与えている。我々
はこの三里塚闘争の普遍的課題を明らかにする中で、その
(革命の魂)を都市への根源的反抗への呼びかけとして、
真実な交通形態の建設を基礎として、日本ソヴェイト根拠地
を建設するに勇躍前進するであろう。勝利は我々のもの
である。この小さな革命の歩は、七〇年代の長期戦の中で、
つまずくことと戦えらるるであろう。我々は三里塚闘争
の普遍的任務をなす(持久的)に(整風)闘争
同志諸君、心から七〇年代永続的文化革命、以て我々
への戦闘的結果を呼ぶか。日本革命の勝利は我々の及
肩にかかっている。(彼方には出口はない)。(毛沢東。
真の労働・学生・職人とその階級形成のために)決断を固
めて、万難を排し、共に前進しようではないか!

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。

同志諸君、専横する広範な階級意識ある大衆の諸君、
事件は明白となった。六月安部(決戦)は、敵プロゾ
フシが新たな西歐戦略をもっている、いやむしろどう
としていくことを、そして我々もまた新たな真実運動原則
を求む主体的矛盾を媒介機能として創造せねばならないこ
とをうけて(決戦)した。